

1.評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	公用車・ごみ処理作業車維持管理事業	担当課・係名	環境美化センター 廃棄物対策係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	13
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	不明

2.事業の概要

目的 (何のために)	適切な公用車・ごみ処理作業車の維持管理				
対象 (誰を・何を)	公用車・ごみ処理作業車の維持管理				
内容	環境美化センターが所有する公用車、ごみ処理作業車の法定点検・日常点検等の維持管理を行う。				
根拠法令・条例等	道路運送車両法				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	6,332	6,744	7,810
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	6,332	6,744	7,810
	職員人数 (概算職員数)	人			0.20
	人件費計 (b)	千円			1,226
総事業費 (a)+(b)	千円	6,332	6,744	9,036	
事業費内訳	○燃料費 2,306千円 ○重機借上料 3,163千円 ○車検等修繕料 1,825千円 ○自動車損害保険料 422千円 ○自動車重量税 94千円				
H 25 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 車両台数	台	12	12	12
	②				
活動指標 (活動量)	① 点検日数	日	310	310	310
	②				
成果指標 (達成度等)	① 整備車両台数	台	12	12	12
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	法定点検であるとともに、必要整備（修繕）であり妥当である。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	車両維持管理上で必要な法定点検、修繕であり妥当である。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	車両の安全運行を鑑み、点検等の完全実施と必要最小限の整備を図っている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	取得から年数が経過している車両が経過している多いため各箇所劣化が多く整備・修理費が高い。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	必要最小限の点検、整備を行った。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 車両を安全に走行するうえでの点検整備を行っているが、車両の老朽化による修繕が発生している。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
取得から年数が経過している車両が多いため、計画的な点検整備により、維持管理経費を抑えていく必要がある。
② 平成26年度に着手する事項
特になし
③ その他（課題、調整事項等）
取得から年数が経過している車両が多いため、計画的な点検整備により、維持管理経費を抑えていく必要がある。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

車両取得から年数が経過しているごみ処理作業車両が多い。また、平成25年10月から、ごみを平塚市へ運搬しており走行距離が大幅に伸びることが想定される。そのため、計画的な点検整備により安全性を高めるとともに、維持管理経費の削減に努めていく。 なお、平成26年度は、ダンプトラック 1 台を更新する。
--